

# 令和2年度 福島県立湖南高等学校 学校経営・運営ビジョン



～校訓～  
誠実・勤勉  
志高・聡明  
自律・協同

コミュニティ・スクールとして新たな一歩

校長 酒井 祐治

◎コミュニティ・スクールとして目指すこと

○地域ならではの特色を生かした学校

・地域や社会の参画・協力を促進し、学校運営の改善を図り、キャリア教育の推進、魅力化・特色化につなげる

○これからの生きる生徒の力を伸ばす学校

・地域の課題を生徒自らが地域と協働して解決していく地域課題探究型学習に取り組む

○地域の人材の育成・還流に寄与する学校

・地域にある各種機関との連携を強化し、地域人材育成・還流をはかる仕組みを構築する



**重点努力目標**：生徒一人ひとりを真に大切にし、人間性の育成や能力の伸長と、地域社会から信頼される学校づくりを目指します。

**育てたい生徒像**

○学習の仕方・進め方を内省し、将来の学習や生活に生かすことができる生徒

○何をすべきか自ら考え、自らの責任で判断し実践できる生徒

○社会人としての常識とマナーをわきまえ、実践しながら生活することができる生徒

○自分たちが暮らす地域に関心を持ち積極的に関わり行動することができる生徒

## 重点 1

### 基礎学力の定着と向上

- 基礎学力の定着と向上を目指します。
- ①習熟度別等の少人数授業で、生徒が「わかる」そして、「できる」と感じる授業を実践します。
- ②「朝学」においてリーディングスキルの向上と定着を図ります。
- ③授業公開（年3回）や互見授業を実施し、授業改善に努め授業力向上を図ります。
- ④授業規律を確立し、落ち着いた学習姿勢を確立します。
- ⑤家庭学習の時間を調査し、家庭学習に対する意識の高揚を図ります。
- ⑥生徒が積極的に読書するために、図書館環境の充実に努めます。

## 重点 2

### 進路希望の実現

- 早期から進路意識を醸成し、全校支援体制で100%の進路実現を目指します。
- ①LHR、総合的な探究の時間を充実させ、連動した各種講話の実施により進路意識の高揚を図ります。
- ②早期に進路目標に応じた個別指導や課外を実施し、進路実現を図ります。
- ③就職者指導週間を設け、全職員で指導に当たります。
- ④就業体験等を通して、進路実現への意欲の向上と意識の改革を図ります。
- ⑤ハローワークや進路アドバイザーとの連携を強化し、就職率100%を目指します。
- ⑥資格取得や各種検定試験を奨励し、合格に向けた指導を充実させます。
- ⑦進学希望者には全国規模の模擬試験を活用し、必要な学力を育みます。

## 重点 3

### 人間性・社会性の育成

- 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上を目指します。
- ①教育活動全般で、全職員で指導に当たり、「あいさつ・身だしなみ運動」を推進します。  
いつでも・どこでも・誰にでも明るく元気なあいさつ  
いつでも面接試験を受けられる端正な身だしなみ
- 豊かでたくましい人間性を育成します。
- ①湖岸清掃や除雪ボランティア等のボランティア活動を積極的に推進します。
- ②面談や職員協議会等を通して生徒理解に努め、共通理解のもと指導に当たります。
- ③各種講話や「保健だより」等により、心身の健康や安全教育の充実を図ります。
- ④部活動の活性化を図り、体力の向上を目指します。
- ⑤校内美化活動を推進します。

## 重点 4

### 開かれた学校づくり

- 保護者・地域との連携を大切にします。
- ①「湖南高校だより」の随時発行やホームページにより、保護者や地域の方々に情報を発信します。
- ②保護者との面談の充実を図ります。
- ③環境整備の活動を推進します。
- ④学校評価の結果をもとに、学校運営の改善を図るとともに学校評価に関する情報をホームページに公表します。
- ⑤地域協働推進校として、地域と協力し、学んだことを地域に還流し地域活性化に貢献します。
- ⑥本校を志願する中学生が増加するように、湖南高校の魅力積極的に発信します。
- ⑦地域との交流を活発にするため、図書室の開放などの取り組みを進めます。
- ※教職員の不祥事の絶無を目指し、地域に信頼される学校づくりに取り組みます。